

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

“黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2 階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com



アピール文を読み上げる 参加者代表の村田様

国と福島県は原発事故により自主避難をしている方の住宅支援が 2017年3月で打ち切りに決定しました。新たな少額の支援策が提示されましたが、それも受給資格条件があります。一方で、国と福島県は南相馬市をはじめに避難区域が徐々に解除がされるが、放射線量が高い地域があり、お子さんを持った家族を中心に帰還をせず、避難生活をしています。10月20日(木)に参議院議員会館を会場に「避難住宅打ち切り反対 福島原発事故避難者の院内集会」が開催されました。北海道から沖縄まで、各地で避難をしている皆さんが登壇し、現在、置かれている状況を一人一人お話し、最後に原発事故避難者からのアピール(左下)を読み上げ、国会議員、メディアに向かい訴えました。

原発事故避難者からのアピール(抜粋)

- (1)福島県に対して災害救助法に基づく行政指導を行い、避難指示区域以外からの避難者に対して、平成29年4月以降も、災害救助法に基づく応急仮設住宅の提供を打ち切らず、今後も避難用住宅の無償提供を続けさせること。
- (2)すでに民間住宅や公営住宅に移った者に対しては、国が責任をもって、その居住費の全額を補助すること。
- (3)平成29年4月以降、やむなく応急仮設住宅にとどまらざるをえない避難者に対しては、国として、強制的に立ち退きをしない方針を示し、各避難者受け入れ自治体にその旨を要請すること。



事務局の高田さんも避難元の話をしました。

受ける災害を軽減する工夫・家庭編 第4回

外出時の持ち物の中に仲間入りしましょう

・携帯ラジオ

大震災に遭うと停電で携帯電話・インターネット・TVなどは使えません。その際、車のラジオで情報が得られました。車がない時でも携帯ラジオが有効です。

・ビニール袋

松戸居住の知人が仙台で、大震災に遭遇。

その方の教えです。寒さ対策の着衣・トイレとしても利用できます。サロンでも利用が話題になりました。

・懐中電灯と笛。どこで遭遇するか分からない。助けを呼ぶ時のすぐれ物。



秋空の下でマイショッパ



10月16日(日)小金宿ぶらり市 in 東漸寺で手作り品の展示販売を行いました。多くの来場者が、足を止めて手作り品を見ていました。

避難者の体験記

連載!私はあの時こうだった 松崎正明さん(福島県南相馬市)

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こらうであろう大災害に対してどんな心構えができるのか? 自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

震災及び、原発事故から5年6ヶ月過ぎ、国内はもちろんのこと世界各国より支援を受けまして被災者の一人として感謝の気持ちでいっぱいです。震災を振り返り、津波で多くの犠牲者、不明者もいて考えると心が痛みます。我が家も津波で全壊しあってはならない原発事故ですぐ避難と言われ事故現場で働いている方を考えながら家族4人(妻、娘、母当時92才)と長女娘家族と犬(クリ当時13才)を車で移動し複雑な気持ちで何ヶ所かある避難所の南相馬市立石神第2小学校へと向かった。避難所の出来事で大型トラック便が着き食料、衣類その他が届き避難者全員が立ち盛大な拍手で迎え、運転手自身も放射線量の高いところに仕事とはいえ複雑な気持ちで来たかと思うと心が痛み避難者の一人として涙が溢れて止まらなかったことを何年過ぎても

昨日のように覚えています。同じように避難者全員が思ったに違いないと思う。避難生活が5~7日経過、大型バスが十数台で新潟、山形の各県の避難先へ向かいその時避難所まで連れてきたペットと一緒に連れて行けないので飼い主にしてみれば涙の別れとなり、ペットからしたら捨てられたと思っているに違いないのでこのことは涙抜きにしては語れないと思います。我が家族の場合は避難所を後に車で犬を乗せ福島市内の病院で一泊、千葉県市川市に住んでいる息子二人が車で迎えに来てくれた。ホテルや息子のアパートに泊り、その後アパートの社長さんが空き室を案内してくれ社長さんからは原発事故が落ち着くまで何年いてもいいよ、被災者なので部屋代はいらぬよと言われたときは涙が止まらなかったことを覚えている。(次号に続く)

みんなの広場

「このせつない我が心」

借り上げ住宅が決まり、その後日避難者向けの「ISG」市川スポーツガーデン(健康維持のためのスポーツ教室)に市役所から勧められて昔やったことがある卓球教室を申し込み10月より始めて早くも5年になります。指導して下さる先生方や卓球仲間と練習後の食事、「カラオケ」「ボーリング」日帰り旅行など又、市川市民の仲間と共に市長賞に出場です。避難先で知り合った方々「黄色いハンカチ」関係者及びスタッフの皆さん、卓球練習をしている皆さんいつもありがとうございます。あつてはならぬ原発事故がなければ会うことがなかったかも。「なんとも言いようがないなあ このせつない我が心わかるかな…わかんないだろうなあ…」南相馬市 M.M 男性

「チェルノブイリ法という希望」

ソ連解体末期、1991年5月「チェルノブイリ法」は成立した。今から考えれば、ソ連という「国家」意識を背景にこの世界最大の事故に対する法律が成立したのである。それに引き換え、日本の場合は、自民党、東電電力といった「利権団体」が自分の意のままに行動し福島大事故に対しても保身に汲々としているのが現状である。「チェルノブイリ法」の特筆すべき第一点は被災地の人民代議員たちがソ連中央の圧力に抗し「1ミリシーベルト」基準を死守したことである。そして第二点は被災者に対する無料(健康診断が一生涯にわたり保証されることである。 松戸市 増田 博光

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ、心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らし感じた想い不安や不満を本音で書いていただきました。

「小高区の指定解除」 被災地ルポシリーズ 2

前回視察予定していたが実際に6号から3度目の福島第一原発を横目で見ながら、小高区の指定解除されたばかりの様子を探って来ました。駅前には私が通っている教会の小高チャペルが5年半放置されたままになっていましたが、雑草だらけでした。小高駅も交番も人もまだいませんでした。中心部の原町区と比べると歴然たる差があり、これからどうなるのか、見守るつもりです。教会は大熊の原発近くにあったが今の常磐線泉に移った。許可を得て浪江、大熊、小高と一時帰宅する人々もいてじかに話を聞くことが出来る。出来る限り発信するつもりだが、自主避難者の住宅支援のタイムリミットが近く胸が痛みます。是非困っている方々に救いの手が伸ばされますようお願いします。いわき市 大山晃平

「除染はモザイク、補償は同心円」

自主避難という括りにされているが、これは強制自主避難であって本人の意志とは全く違う。当たり前の健康生活を守れないため仕方なく避難しているのでその言葉が、既成事実のように国にとって都合の良いものとなっている。「原発事故子ども被災者支援法」は政府がすべて決めるので打ち切りも自由。日本国憲法に保証された基本的人権にもかなわない。国や東電から理不尽な線引きをさせられ、5年以上にわたって心身ともに疲れ「東北の復興なくして日本の再生なし」なんて誰が信じるのか？国は加害者責任を認めていない現状。避難先には県から除染状況としてモザイク状の分布図が送られてくるが、震災直後から同心円状に切り分けられ、汚染地帯はモザイク状である。半径20kmより線量の高いところはいくらでもある。なぜ5年も経過しているのに除染はモザイクで補償は同心円なのか？国政の方たちはこのような地域で是非、生活してみよう。住宅打ち切りは到底、納得のいくものではない。もうまったなしの状況に置かれている人々は大勢存在している。南相馬市 憂国の民 男性

初めての囲碁教室「一から教えます」

9日、23日(水)13時30分～16時(毎月第2・第4水曜日)



講師 今田靖雄さん

黄色いハンカチの中で唯一男性が中心の教室です。ここで初めて囲碁に出会ったという初心者にも、講師の今田さんはやさしく指導して下さいます。被災者の支援にもとても理解をいただいています。

黄色いハンカチの HP・黄色いハンカチブログ・黄色いハンカチフェイスブック開設。ご覧ください。紙面に載せきれない情報も掲載！

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」11月予定表

日時	内容	講師
1日(火) 13時30分～	歌の日 みんなで楽しく歌いましょう	市民ボランティア 前田洋子さん
9日、23日(水) 13時30分～	初めての囲碁教室 一から教えます	市民ボランティア 今田靖雄さん
10日(木) 13時30分～	お茶の文化を楽しむ 歴史ある中国茶を楽しみましょう	市民ボランティア 友山邦雄さん
15日(火) 13時30分～	手芸の日 猫クリップとブローチ作り	市民ボランティア 戸丸栄子さん
17日(木) 13時30分～	健康講座 ロコモ予防・元気な未来への投資	松戸市健康推進課 徳丸優里さん
22日(火) 13時30分～	自主避難者交流の日 住宅支援を中心に考える	皆さんと一緒に考えましょう！
毎週金曜日	相談日(予約制) 法律、仕事、年金など専門家につなぎます。	相談員 古宮保子さん

誓・東北交流サロン・イベントからのお知らせ

健康講座 ロコモ予防

日時:11月17日(木) 13時半

場所:交流サロン黄色いハンカチ

講師:保健師 徳丸優里さん

ロコモティブシンドロームの略で筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいいます。

避難者交流会 in 柏 (避難者優先)

日時:12月3日(土) 12時～14時半

会場:イタリアンレストラン モダンタイムス(柏駅東口)

参加費:避難者500円 その他1000円 定員:30名

■アクセスマップ■

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」
松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2F)



●毎週月～木 10時～16時オープン。
利用は1回100円です。